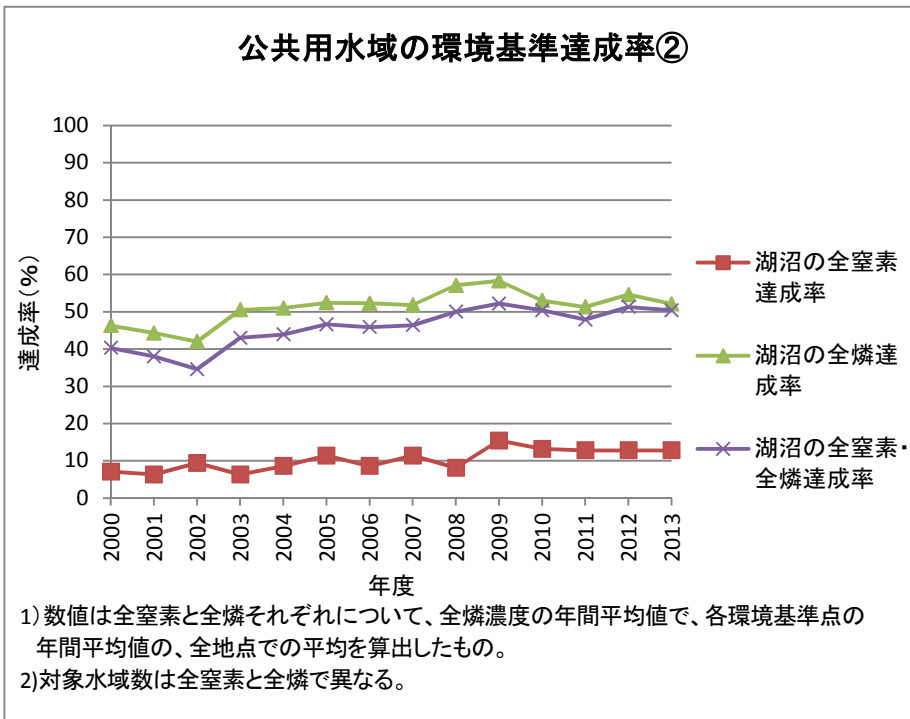
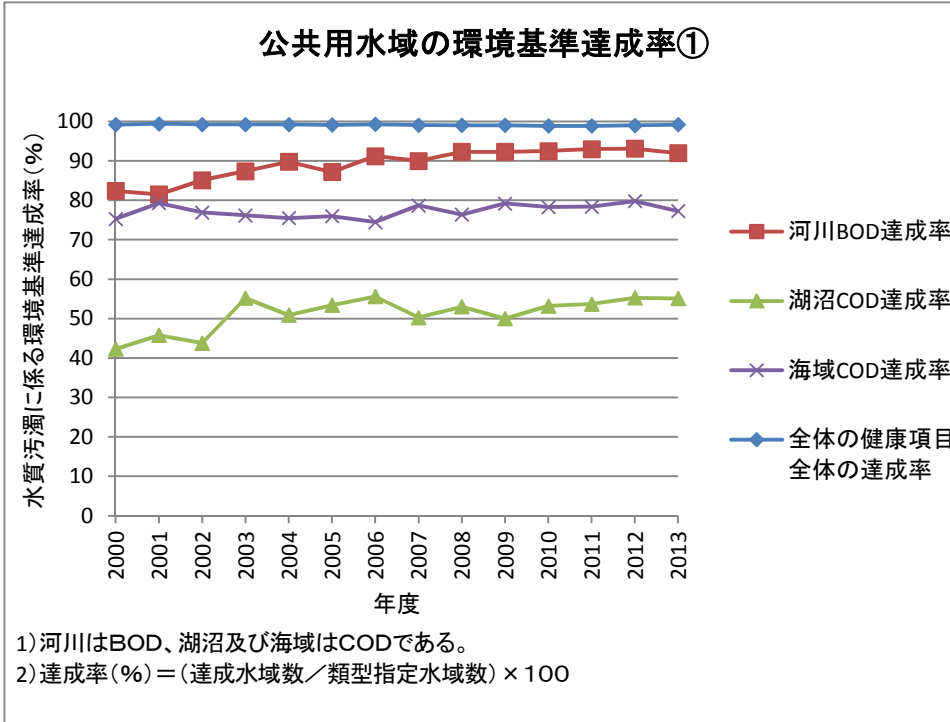
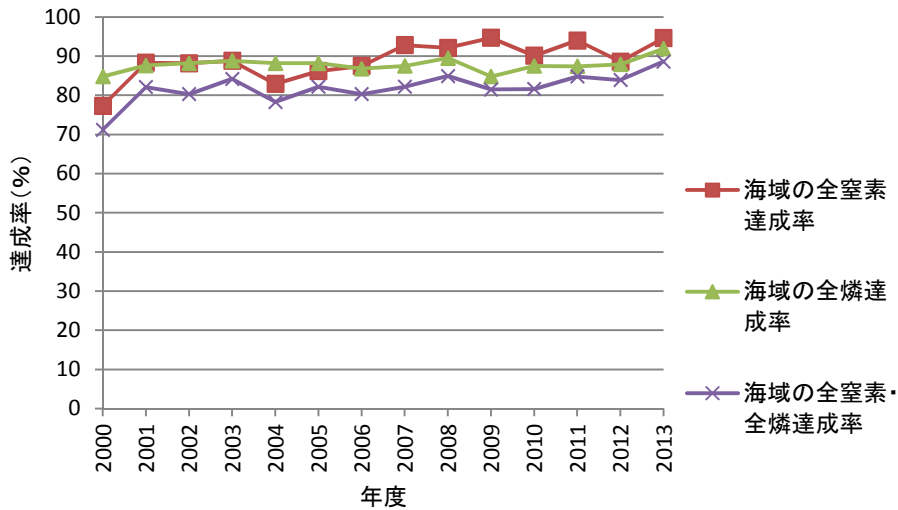


「水環境保全に関する取組」における取組推進に向けた指標

・公共用水域及び地下水の水質汚濁に係る環境基準の維持・達成状況

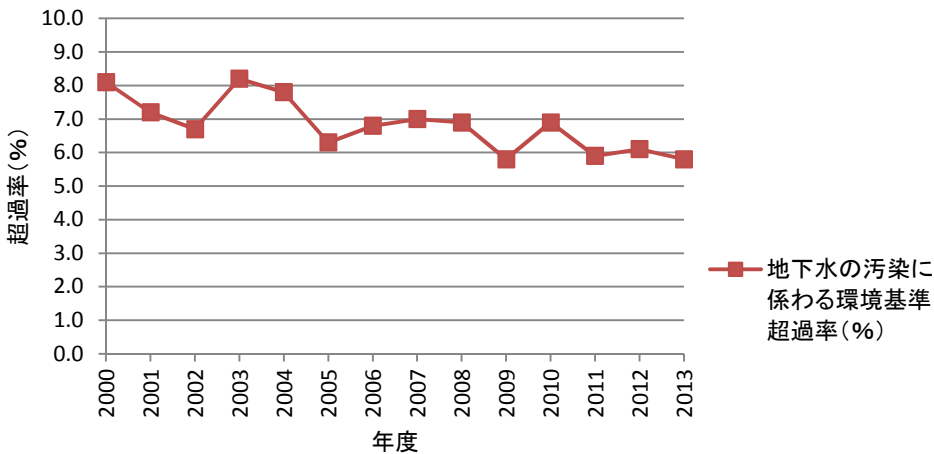


公共用水域の環境基準達成率③



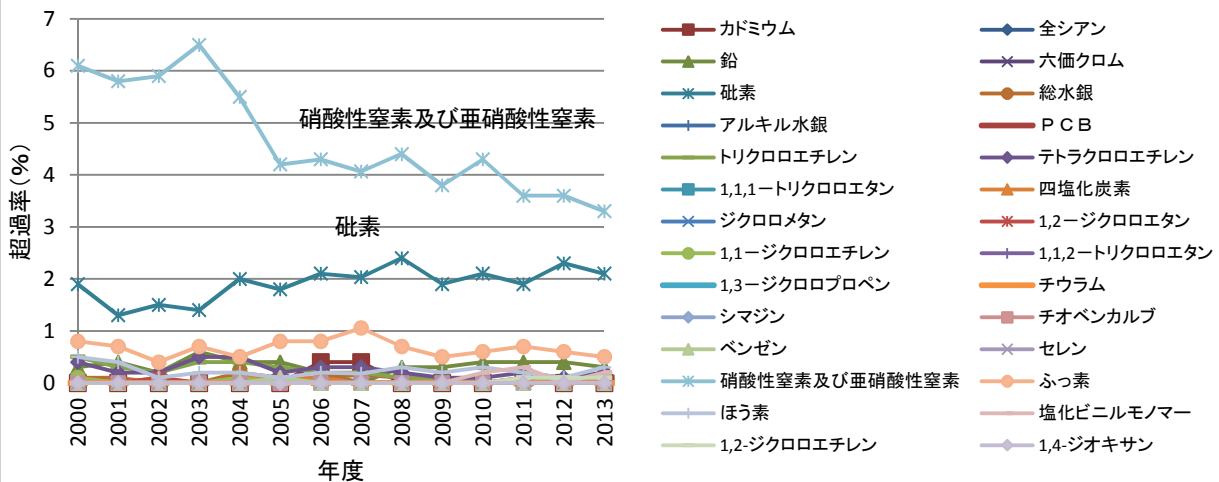
- 1) 数値は全窒素及び全磷それぞれについて、環境基準を満足している水域の割合。
- 2) 海域については、全窒素のみ又は全磷のみ環境基準を適用する水域はない。

地下水の環境基準超過率①(全体)



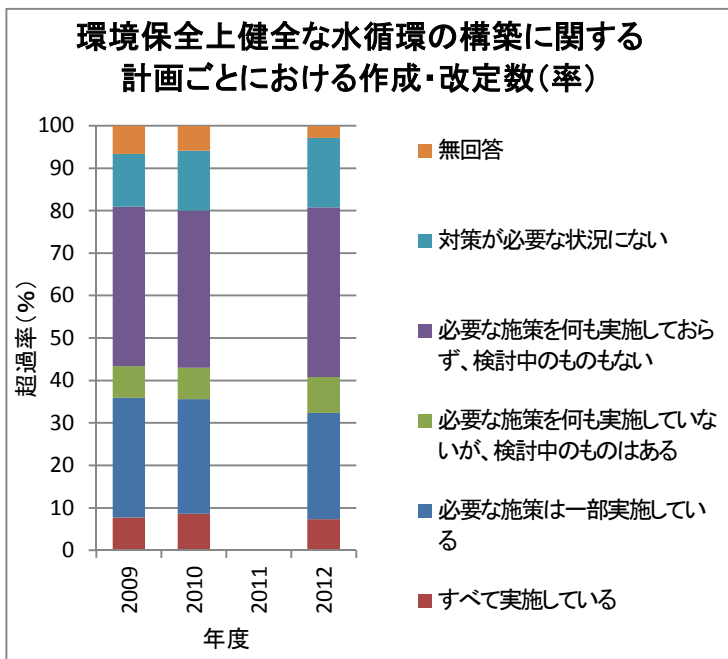
- 1) 数値は概況調査の調査結果における、地下水の水質汚濁に係る環境基準の超過率。
- 2) 超過率とは、全調査井戸数のうち、何らかの項目で環境基準を超過した井戸数の割合。
- 3) 年度によって調査対象の井戸が異なるため、単純比較できないことに留意する必要がある。

地下水の環境基準超過率②



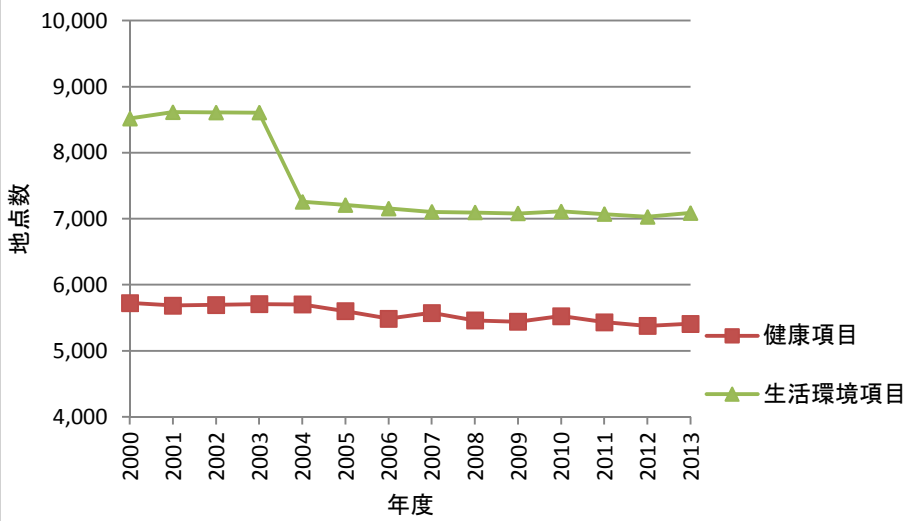
- 1) 数値は概況調査の調査結果における、地下水の水質汚濁に係る環境基準の超過率。
- 2) 超過率は、調査数に対する超過数(測定当時の基準を超過した井戸の数)の割合である。
- 3) 塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、1,4-ジオキサンは、平成 21 年 11 月に環境基準に追加。
- 4) 年度によって調査対象の井戸が異なるため、単純比較できないことに留意する必要がある。

・環境保全上健全な水循環の構築に関する計画ごとにおける作成・改定数



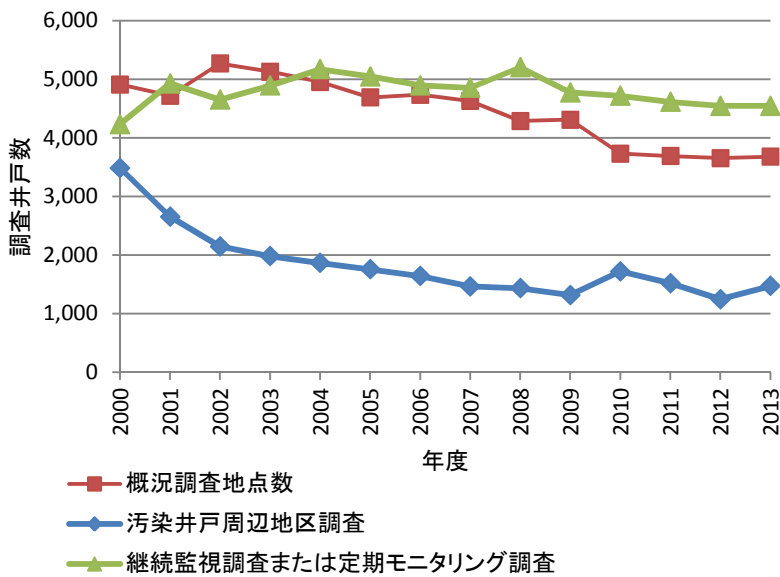
・水質等のモニタリング地点

公共用水域における水質測定地点数



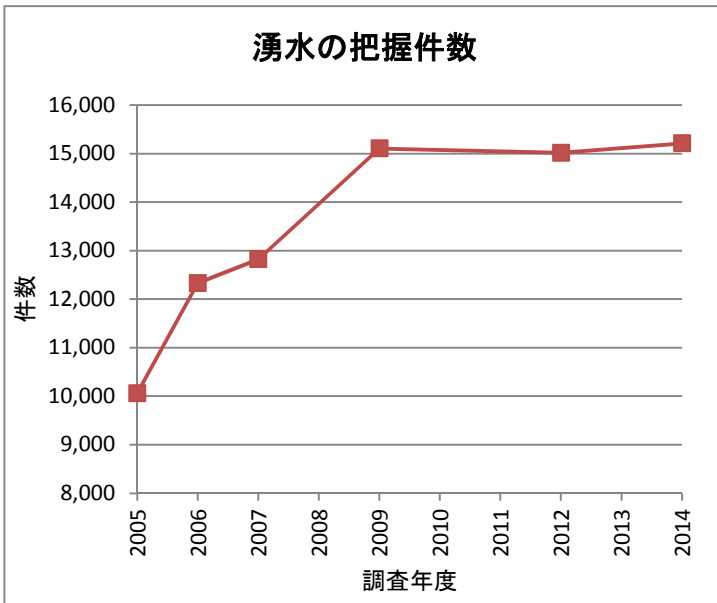
- 生活環境項目は、BOD等7項目、全窒素及び全リン、全亜鉛(水生生物)について測定した地点数の合計値。
- BOD等7項目について測定した地点数と全窒素及び全リンについて測定した地点通には重複がある。ここで示している生活環境項目の地点数は、各項目について測定した地点数の単純合計(のべ地点数)ではない。

調査井戸数

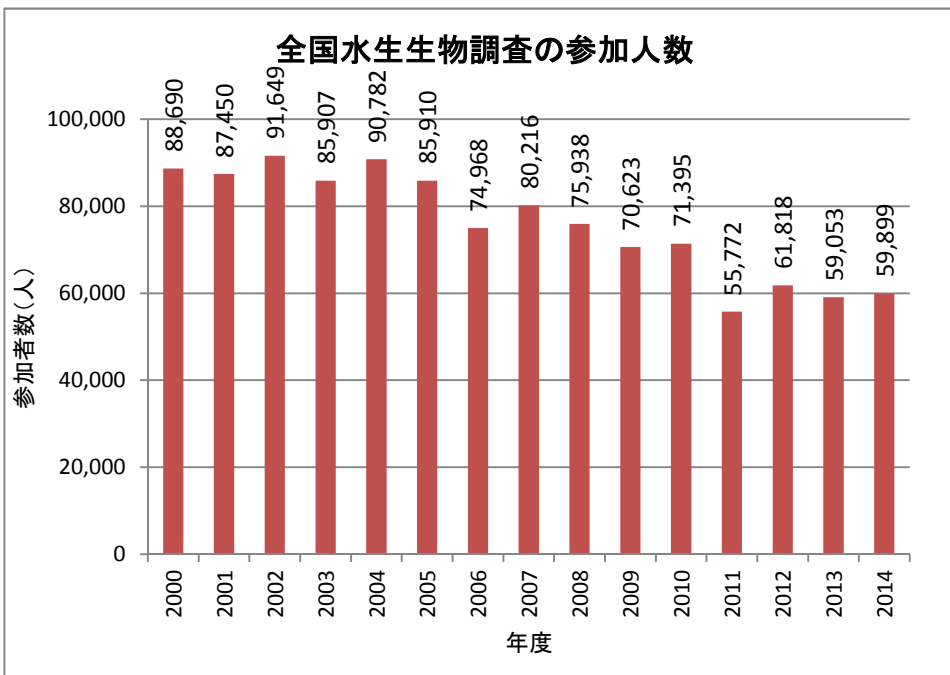


- 定期モニタリング調査は平成 21 年度より継続監視調査へ調査区分が変更となった。

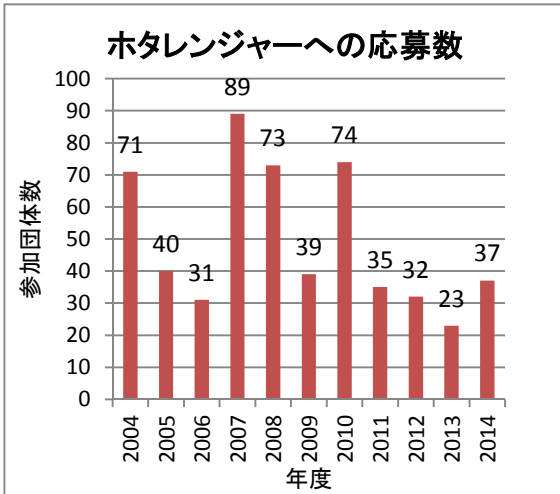
・湧水の把握件数



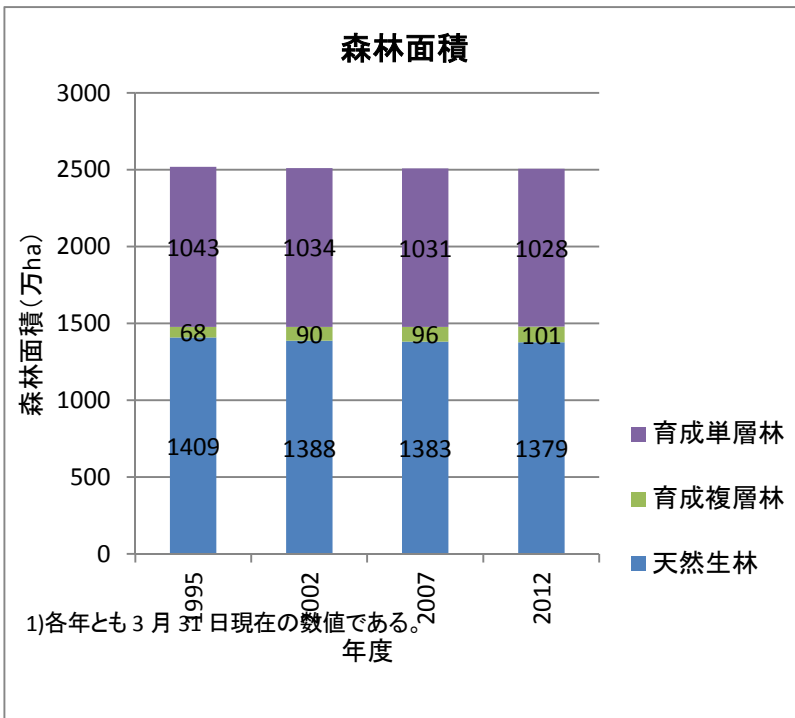
・全国水生生物調査の参加人数



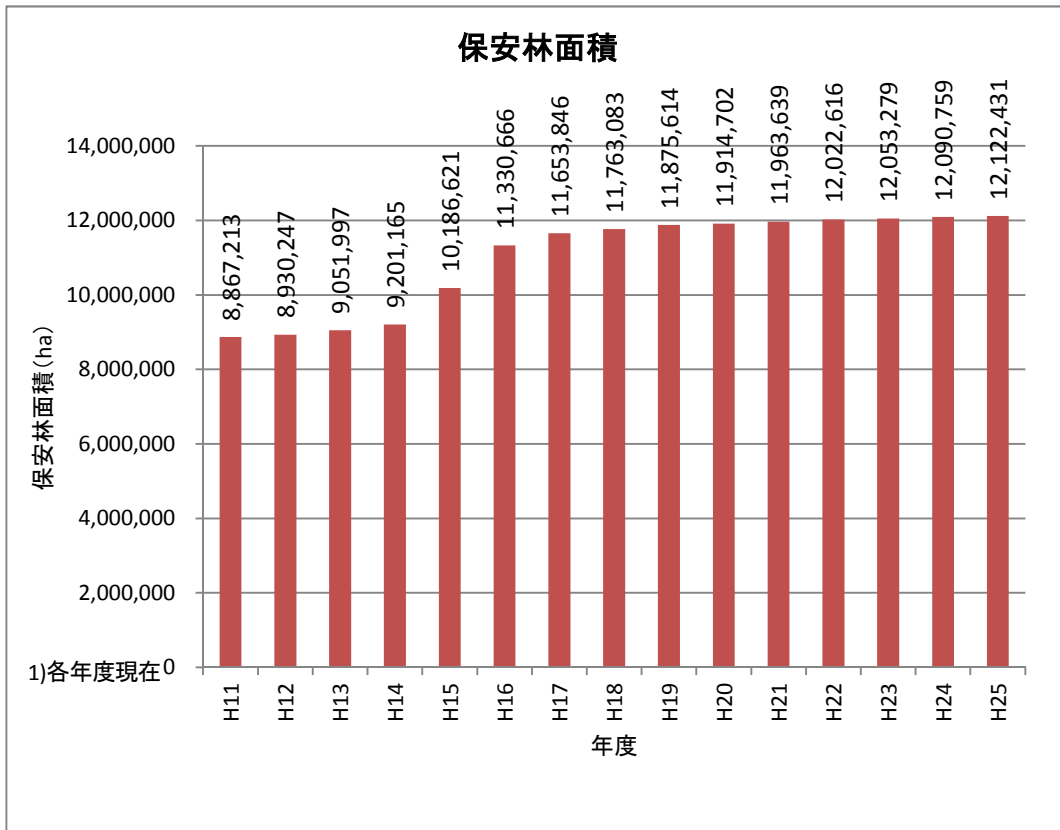
・ホタレンジャーへの応募数



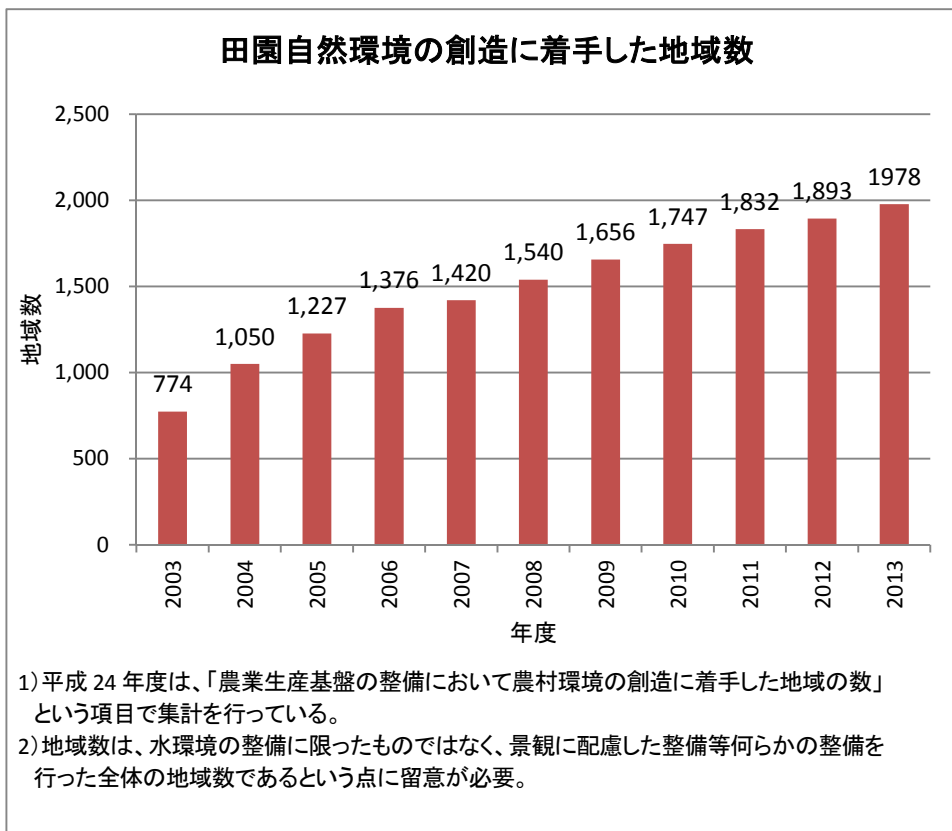
・森林面積（育成単層林、育成複層林、天然生林）



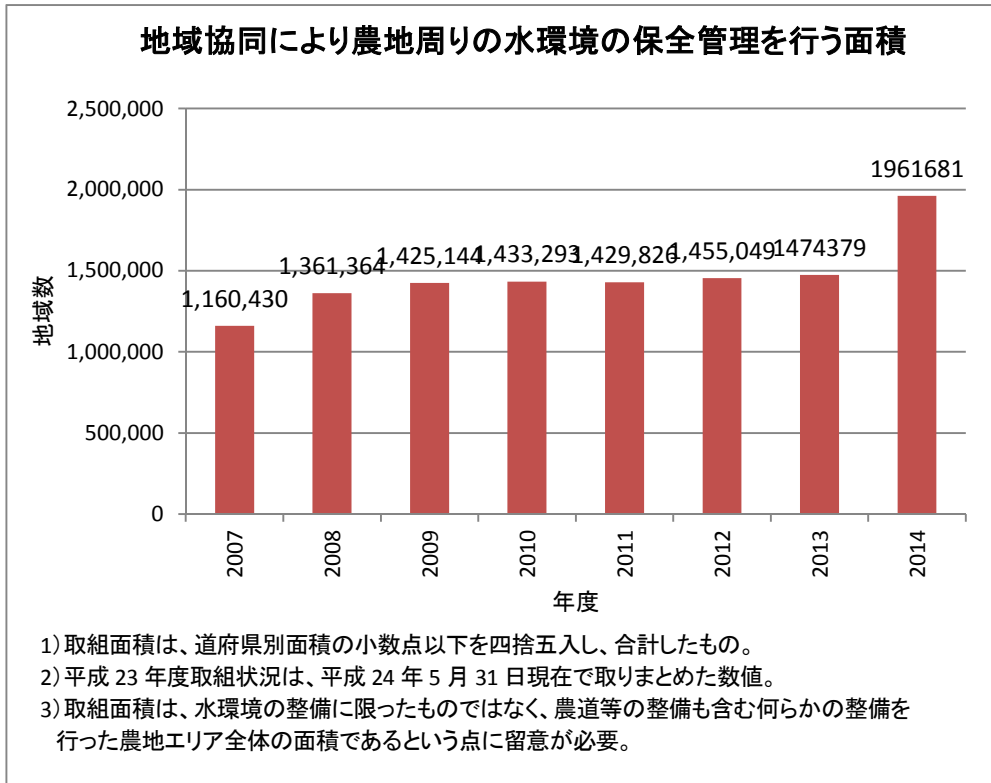
・保安林面積



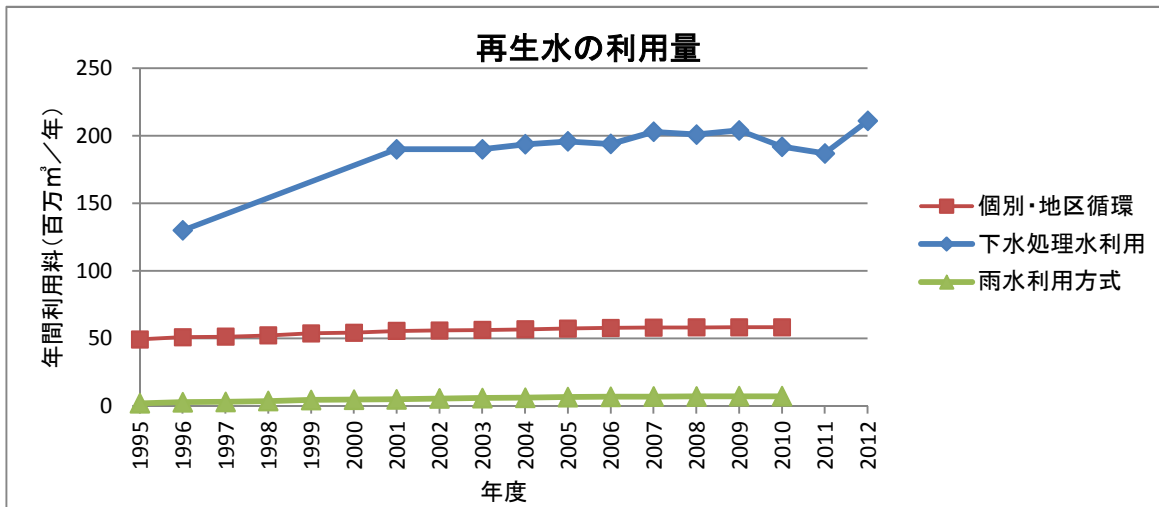
・生態系の保全の観点から田園自然環境の創造に着手した地域数



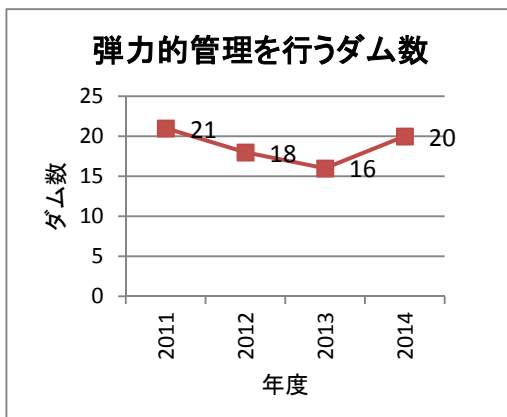
・地域協同により農地周りの水環境の保全管理を行う面積



・再生水の利用量



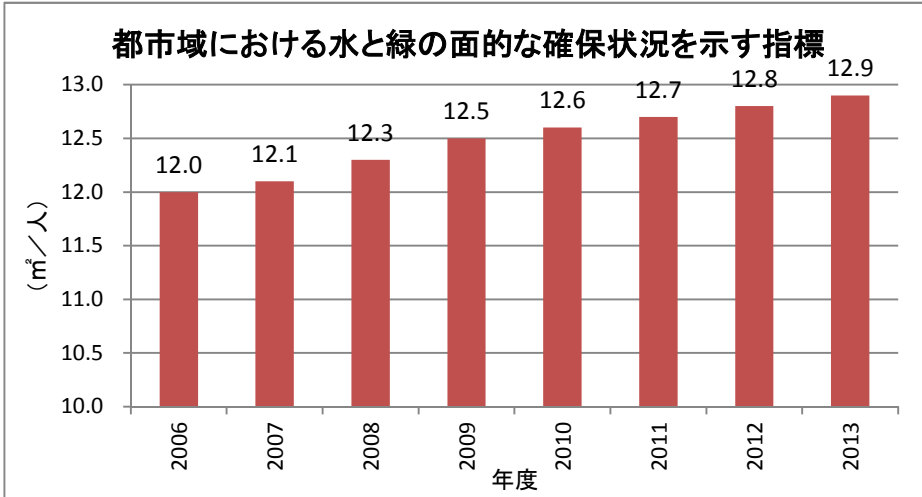
・弾力的管理を行うダム数



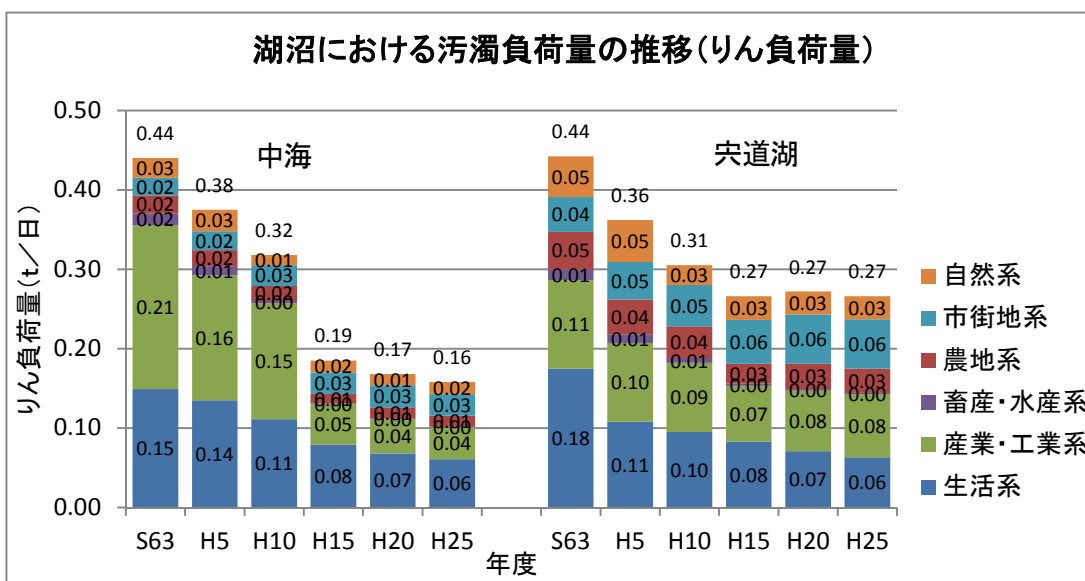
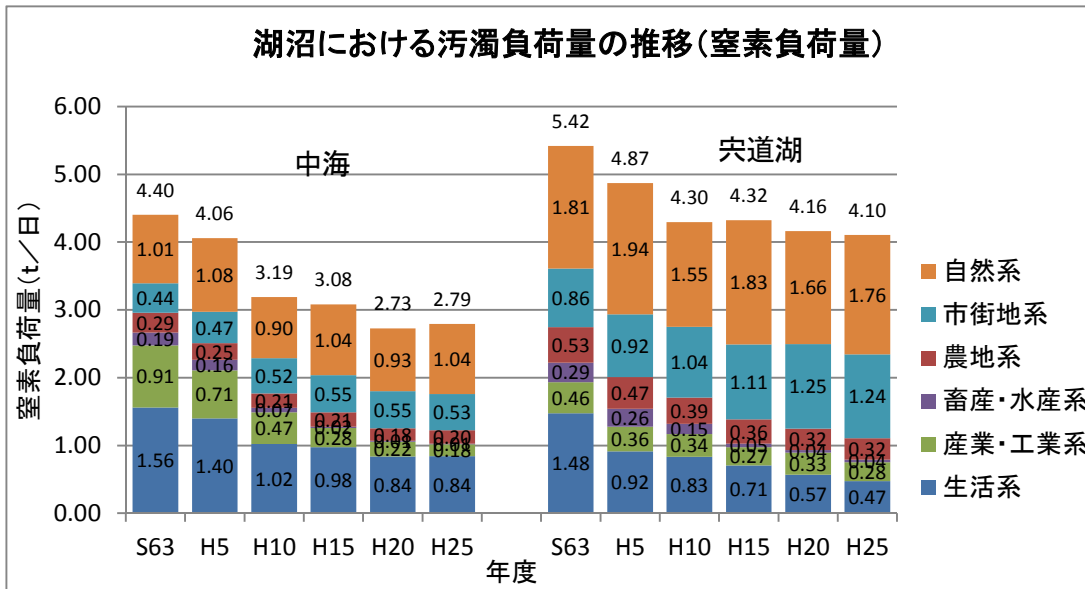
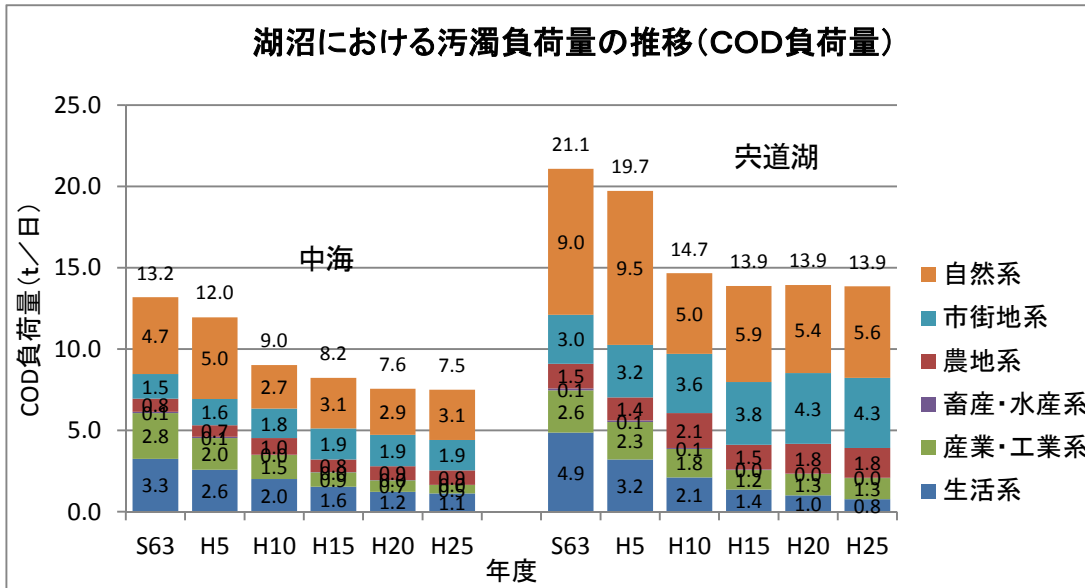
・雨水貯留浸透施設の設置数

- 1)平成 23 年度末で、全国で約 1,800 の建築物に雨水利用施設が導入され、雨水利用量は約 800 万 m³ である。
- 2)雨水貯留施設の調査のとりまとめの最新は平成 25 年度末。
設置数 H23 約 1,800 → H25 約 1,900 施設
雨水利用量 H23 約 800 万 m³ → H25 約 800m³

・都市域における水と緑の面的な確保状況を示す指標

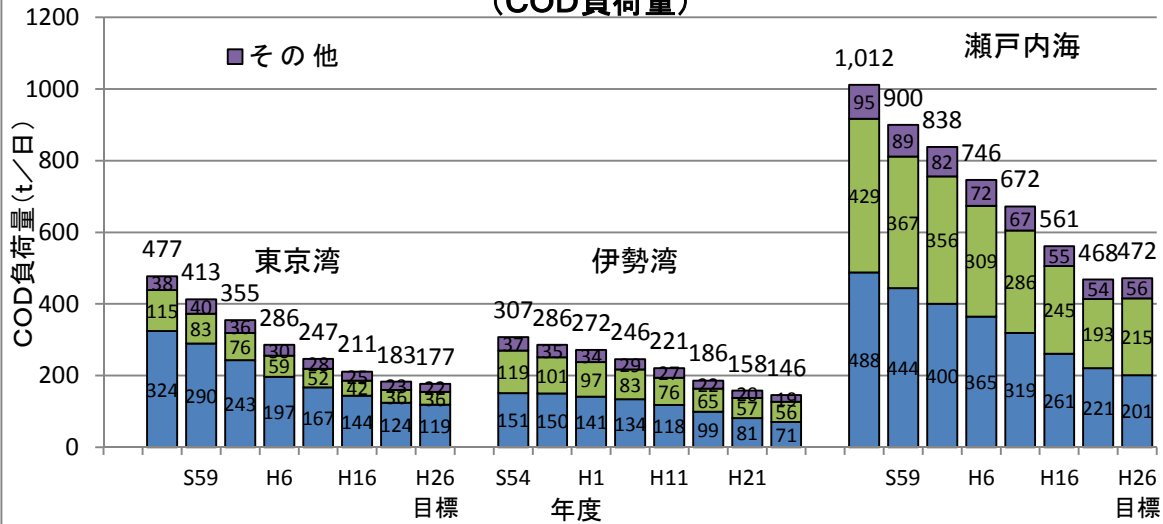


・主要な閉鎖性水域における汚濁負荷量

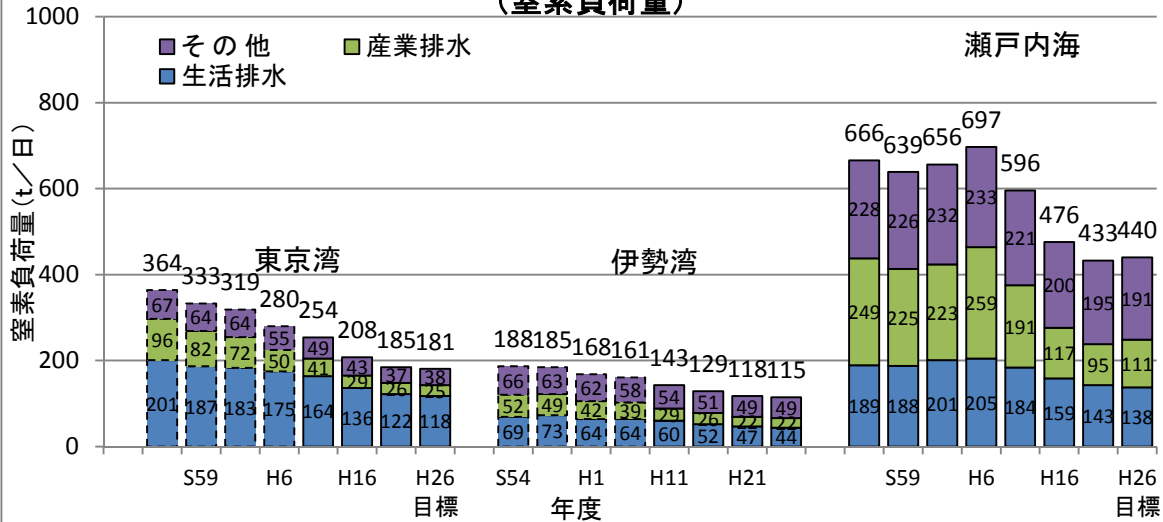


- 1) COD、T-N、T-P は環境基準点の年間平均値の全地点平均値
- 2) 霞ヶ浦の環境基準点は西浦 4 地点、北浦 2 地点 (H23 時点)
- 3) 琵琶湖の環境基準点は COD 北湖 4 地点、南湖 4 地点、T-N、T-P は北湖 3 地点、南湖 1 地点 (H23 時点)

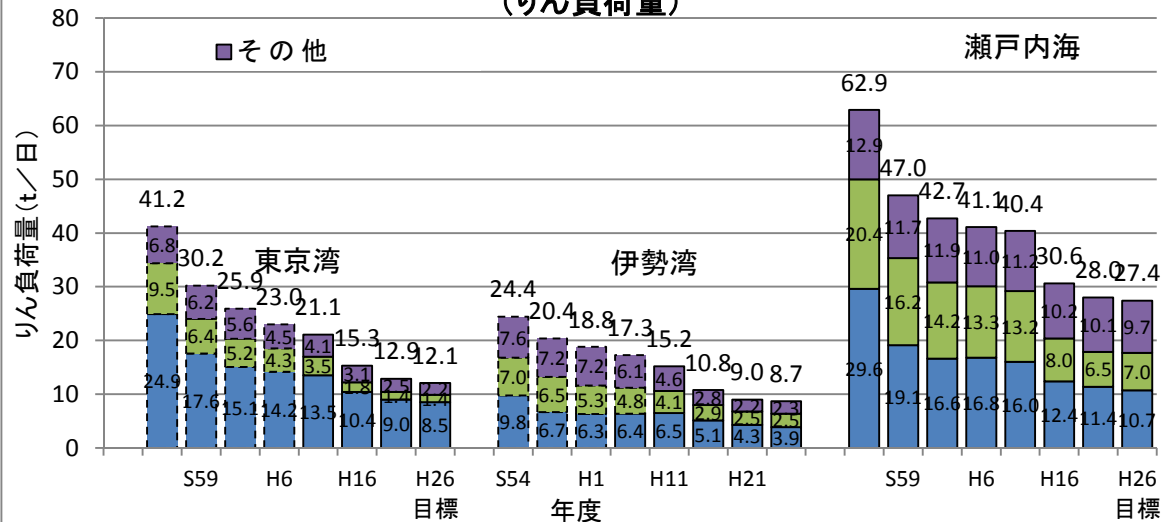
東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における汚濁負荷量の推移
(COD負荷量)



東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における汚濁負荷量の推移
(窒素負荷量)



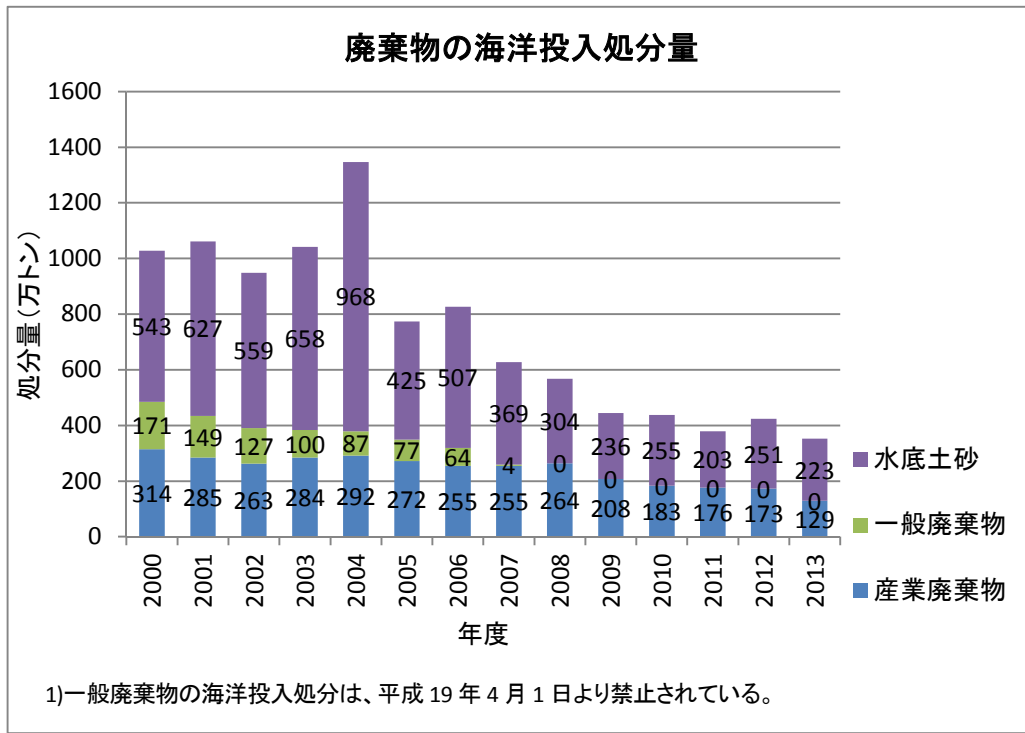
東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における汚濁負荷量の推移
(りん負荷量)



出典)発生負荷量管理等調査(環境省)及び関係都府県による水系結果

備考)窒素・りん(S54~H6(点線の棒グラフ)は関係都府県による推計値、グラフ右端のH21、H26は目標値。

・廃棄物の海洋投入処分量



・主要な閉鎖性海域の干潟・藻場面積

		1989	1990	1991 ～ 1995	1996	1997 ～ 1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
千葉県	干潟面積	1686			1805														
	藻場面積	954			1194														
東京都	干潟面積	16			16														
	藻場面積	1074			794														
神奈川県	干潟面積	59			59														
	藻場面積	3987			3987														
愛知県	干潟面積	2083			2062					1783									
	藻場面積	956			859					991									
三重県	干潟面積	962			934		1100									1268			
	藻場面積	8279	3612		6748		235									2548			
大阪府	干潟面積	2.0			79									73					
	藻場面積	287			37		289	290		336	338	345	345	349	354	356	360	361	362
兵庫県	干潟面積	69	135							135				126					
	藻場面積	1654	1202		未調査					1267				1372					
和歌山県	干潟面積	87			94		約72							118					
	藻場面積	1224			1205														
岡山県	干潟面積	566			566									527					
	藻場面積	934			883									1397					
広島県	干潟面積	1024			1068									1186					
	藻場面積	2059			1842														
山口県	干潟面積	2361			2815									2987					
	藻場面積	7681			5421														
徳島県	干潟面積	124												192					
	藻場面積																		
	上段：播磨灘 下段：紀伊水道	45 476			未調査					64				233					
香川県	干潟面積	977			901									698					
	藻場面積	1767			1195											2398			
愛媛県	干潟面積	706			827									781					
	藻場面積	6208			1698														
福岡県	干潟面積	4,156			4324									1665					
	藻場面積	5236			3909														
大分県	干潟面積	4,046			3729									3638					
	藻場面積	3990			3990														

各都府県共通出典資料

1989：第4回自然環境保全基礎調査(H6・環境庁)

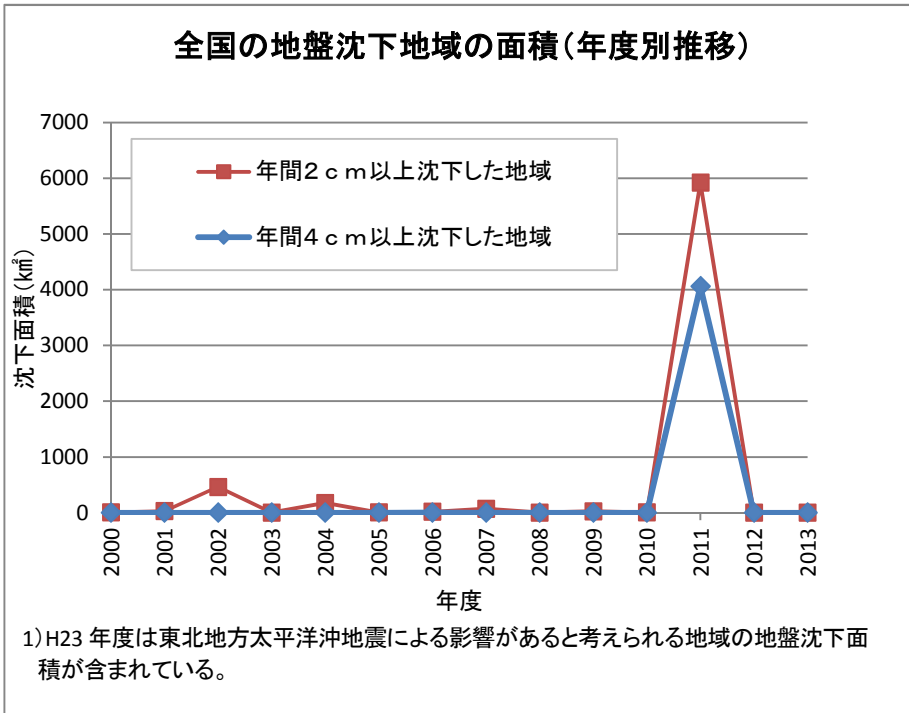
1996：第5回自然環境保全基礎調査(H10・環境庁)

2007：平成18年度瀬戸内海干潟実態調査報告書(H19・環境省)

・里海づくりの取組箇所数

	H22	H26
里海づくりの取組箇所数	123 件	217 件

・全国の地盤沈下地域の面積



・地中熱ヒートポンプシステムの年間及び累計設置件数

